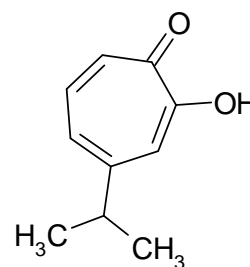
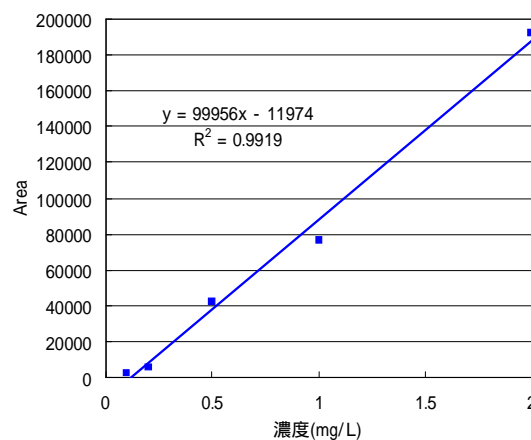
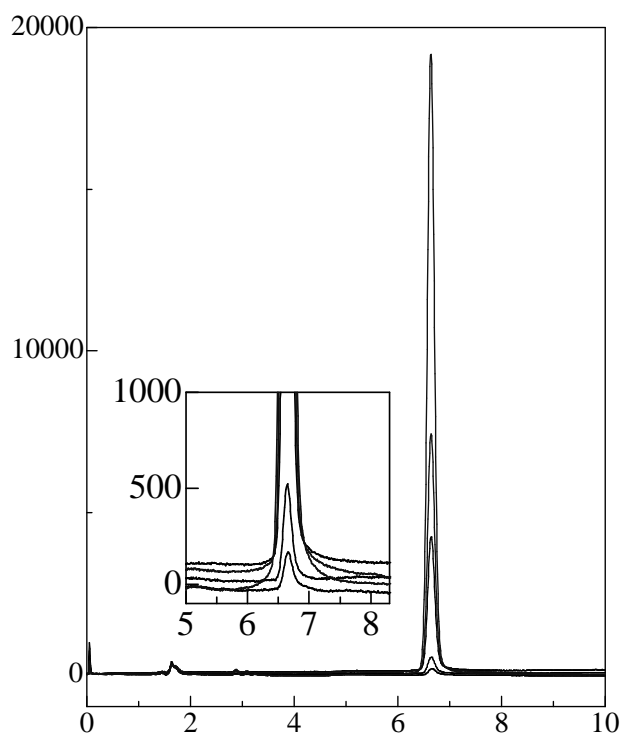


ヒノキチオールの分析 2 Hinokitiol

ヒノキチオールは、ヒノキなどから抽出される天然の抗菌成分として幅広く使われています。金属との配位結合性が高いため、HPLC での分析の際にはカラムや配管などに吸着しやすいので注意が必要です。

今回はヒノキチオールを HPLC 分析し、0.1～2 mg/L の範囲で検量線を作成したところ、相関係数は 0.9919 で、検出限界は 0.01 mg/L でした。**L-column2 ODS** ではこのような金属と配位結合しやすい化合物においても低濃度まで良好なピーク形状を示し、定量性も高くなっています。



Hinokitiol

Fig. Chromatogram of hinokitiol

【Analytical conditions】

Column : L-column2 ODS (5 μ m, 12 nm) 4.6 \times 150 mm
 Mobile phase : CH₃CN/20mM H₃PO₄ (40/60)
 Flow rate : 1 mL/min
 Temperature : 40
 Detection : UV 240 nm
 Injection volume : 10 μ L in CH₃CN